

令和 8 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
野菜推進部会 現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜推進部会長
農研機構野菜花き研究部門 施設生産研究領域長
磯崎 真英

1. 趣 旨

野菜は農業総産出額の約 4 分の 1 を占める重要な農業分野であり、「みどりの食料システム戦略」においては、環境負荷の低減と持続可能な生産体系の構築が強く求められている。本年度の研究会では、施設園芸に焦点を当て、戦略への対応としてスマート農業技術の導入に関する現場での取り組み事例や最新の研究成果を共有する。各都県における研究開発の加速と、生産現場への技術普及のさらなる促進を図ることを目的とする。

2. 開催日時 令和 8 年 11 月 19 日（木）13：45 ～ 16：20

3. 開催場所

群馬県農業技術センター（群馬県伊勢崎市西小保方町 4 9 3）
話題提供：大会議室
視察：西圃場および東圃場

4. 開催内容

（1）開会、挨拶（群馬県農業技術センター 所長） 13：45

（2）話題提供 13：50 ～ 15：10

①「キュウリ摘心栽培における作物群落の 3D モデル構築および AI 解析による
生育評価法の開発」((株) きゅうりトマトなすびとの共同研究) 13：50
祖父江 順（群馬県農業技術センター 東部地域研究センター）

②「施設トマト生産における生育・収量シミュレーションの活用」 14：10
伊藤 瑞穂（農研機構 野菜花き研究部門 施設生産研究領域）

③「シミュレーターによるトマト栽培計画の最適化実証」 14：35
笥 雄介（農研機構 野菜花き研究部門 施設生産研究領域）

④「総合討論」 15：00
「技術的課題」に関する意見交換を含む
— 休憩（10 分）—

（3）視察 15：20 ～ 16：20

① キュウリ収穫ロボット試験（AGRIST 社製収穫ロボット）【A 班→B 班】

② イチゴ試験研究スマート農業ハウス【B 班→A 班】

【A 班】 15：20 ～ ① 15：50 ～ ②

【B班】 15：20 ～ ② 15：50 ～ ①

5. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県の行政・普及・試験研究機関、農林水産省（農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、北陸農政局、東海農政局）、農研機構、その他部会長が認める者

6. 連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 事業化推進室
事業化推進チーム長 松山 宏美
E-mail：sh-c-suishin@naro.go.jp
TEL：029-838-7158

7. その他

参加申し込み、提出資料等については事務局より別途連絡する。